



## ロボット支援手術導入時のチームでの取り組み

手術センター師長 藤岡 十季己

手術支援ロボット「da Vinci Xi」導入にあたりロボットチーム（ワーキンググループ）を結成し取り組んで参りました。

ロボット支援手術は、従来の手術より出血が少なく手術後の回復も早く、患者さんにとってメリットのある手術です。医師・看護師・臨床工学技士と手術進行に沿ったシミュレーションを行い、必要な器械・機材、手順の確認、緊急対応など役割を明確にしながら繰り返しトレーニングを行いました。また、マニュアルを整備し、術中体位の安全確保、褥瘡・神経損傷の予防に重点をおいて対策を検討しました。初のロボット手術に向けて緊張感の中にもやりがいをもって取り組むことができました。

現在、手術室看護師全員がロボット手術の担当が出来るよう、チームの看護師が中心となり実践の中でスタッフ教育を実施しています。多職種間でスムーズな連携を行い、チーム医療としてそれぞれが専門性を発揮することで安全・安心な手術の提供に繋がると考えます。

今後も患者さんが安心して手術を受けられるようスタッフ一同、研鑽を積んで参ります。



## 世界患者安全の日イベントを行いました

医療安全管理者 泉 君香



毎年9月17日は「世界患者安全の日」です。「患者安全を促進するWHO加盟国による世界的な連携と行動に向けた活動をする事」を目的として医療制度を利用するすべての人々のリスクを軽減するために2019年に制定されました。

2024年度のテーマは「患者安全のための診断の向上」スローガンは「正確に、そして安全に！」です。当院では、患者さんや職員の意識・関心を高め、理解を深める活動として、9月17日～19日の3日間、病院正面を医療安全カラーであるオレンジ色にライトアップしました。

また、医療安全標語10題を選出し、世界患者安全の日ポスターとともに掲示し、患者さん・ご家族投票と職員投票を行いました。

標語は「医療者あるある」や「ユーモアのあるもの」「注意喚起になるもの」など幅広く、数多くの方に興味・関心を持って見ていただき、より一層「安全な医療」の提供を行う必要性を感じました。これからも医療安全活動に努めてまいります。



テーマカラーにちなんだオレンジ色の風船と標語の掲示の様子

